

十一月十四日 歌人真島勝郎さんの歌碑の除幕式に参列しました。私の先輩の青年指導者で、短歌の指導を受けたことがあり、葛塚中学校の校歌の作詩者でもあるからです。真島さんは加治川村砂山に生まれ、東大文学科を出た後、宮下二、木俣修らと共に北原白秋門下に学んだ新進歌人で、昭和三十九年に死亡されました。旧制新発田中学校と新大高田分校で教えを受けた市民もあるはずですが、顕彰会が出版した記念歌集「越路の野末」に、「長浦村月夜十三首」という、福島潟の月夜を詠んだ短歌が載っていますが、その時のことを知っている人はいないでしょうか。

十一月十五日 豊栄南小学校の児童が、記念運動会の際、風船に手紙を吊して飛ばしたら、会津や福島県の太平洋側の各地に落ちたそうです。それから向こうの子どもたちと文通したり、電話で話し合っているとのこと、その電話の録音が、今日の小学校創立十周年記念式に披露されました。豊栄市の片すみの学校の子どもでなく、広い日本の子どもなんだ、という大きな夢がひろがったようです。いい記念事業でした。

十二月一日 交通安全指導隊任命式を行い、隊長石川佐市さん以下婦人一名を含む二十一名に辞令を交付しました。隊員はみな一家の働き手の中心でありながら、交通安全運動期間をはじめ、多数集まる催し物のときなどに出勤し、市民の安全のために奉仕しています。任期は二年で更新ですが、十年以上連続勤務の人が四人もいます。ご苦労さまですがよろしく願います。市民の皆さんもこの尊い奉仕者の気持ちになり、交通安全に心がけてください。

十二月二日 新潟日報に、早通南の主婦富岡洋子さんが「日報を読んで」を書きはじめました。富岡さんは秋田県鹿鹿市の生まれで、川柳などの同人誌はありますが、もっと広く作品を掲載できる市民の雑誌をほしいものです。今年私が書いた新潟日報の「晴雨計十一篇」と「週末の食卓」などは多くの人たちから読んでいただきました。が、専門誌のものを読んで人々は極めて少数のようです。

十二月六日 中央公民館で開かれた国際障害者福祉チャリティショーは、車椅子の絶唱で知られるわが市の歌手、キングレコードの

このバイパスが計画されたもので、昭和四十八年度に工事着工し、第一工区（海老ヶ瀬インターチェンジから競馬場インターチェンジ間、距離五・九キロ）が、昭和五十二年に開通しています。本線は、将来の交通量の推移に合わせ四車線の建設を計画していますが、現在は暫定二車線の供用となっています。

宇都宮大学農学部農業経済学科を卒業し、日本農民文学会員だそうです。六年前には市役所の農政課へ事務の手伝いに来てくれましたが、農民文学会員であることを知らないでいて失礼しました。豊栄市にはほかにも名文筆家が何人かいると思いますが、画や書の展覧会のように、作品を一堂に集めることがないので、私の知らない人がいるようです。芸誌、俳句、

本間英子さんを中心に、民謡、歌謡の愛好者、クラウンレコードの村上幸子さんも応援出演で盛会でした。益金を市の社会福祉資金にご寄付いただき、ありがとうございます。

十二月七日 白新町の曾我かね子さんが日本民謡浅野梅若流の名取、浦木の石井幸子さんが新潟県民謡協会公認の教師になり、ともに明春三月記念公演をされます。その時のプログラムに載せる祝辞の原稿を書いてさしあげました。

今年阿賀北清掃センター、豊栄環境センター、早通南小体育館、笹山小学校、早通児童センター、内島見配水場、新新バイパス第二工区など、長く市民生活に役立つ施設が多くなりました。その反面、職員の失態、水道会計の赤字、葛小建築工事の杭の沈下など、私が責任を問われることもありました。さらに心をひきしめて新年に向かいます。皆さんもいい年をお迎えください。

**選挙管理委員の阿部十吉さん死去**

市選挙管理委員の阿部十吉さん（七十二、六一歳）が、十一月二十七日病死されました。

**土地区画整理組合事務所を閉鎖**

市役所脇にあった豊栄市土地区画整理組合連合会事務所が、十一月三十日をもって閉鎖され、取り壊されました。

**土地区画整理組合事務所を閉鎖**

市役所脇にあった豊栄市土地区画整理組合連合会事務所が、十一月三十日をもって閉鎖され、取り壊されました。

**中野の日記**

**石井耕一**

**土地区画整理組合事務所を閉鎖**

**土地区画整理組合事務所を閉鎖**

**土地区画整理組合事務所を閉鎖**

**競馬場～東港入口が開通**

**新新バイパス第2工区分**

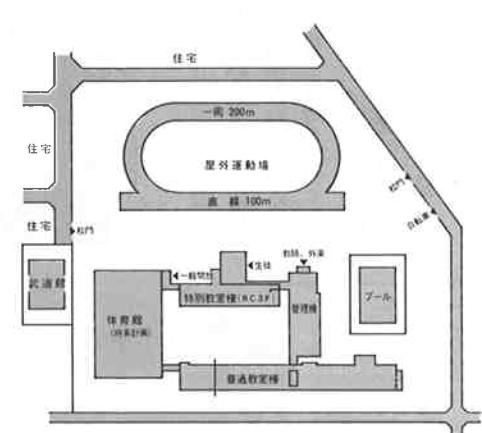
好天の中でテープカット行われる（十二月四日、新新バイパス競馬場入口で）



かねて工事中であった新新バイパスの第二工区（競馬場インターチェンジから東港インターチェンジ間、距離四・八キロ）が完成し、十二月四日、開通式を行いました。

新新バイパスは、新潟市大形本町の海老ヶ瀬インターチェンジから新発田市奥山新保の新発田インターチェンジまでを結ぶ全長一七・二キロですが、今回開通したのは

国道七号線は、新潟市青森を結ぶ日本海側唯一の縦貫幹線道路ですが、山形・秋田方面からの交通は増大の一途をたどり、特に新潟・新発田間は朝夕の通勤等で飽和状態となっています。そこで、この状態を打開することと地域開発の発展のため、新潟・新発田間に



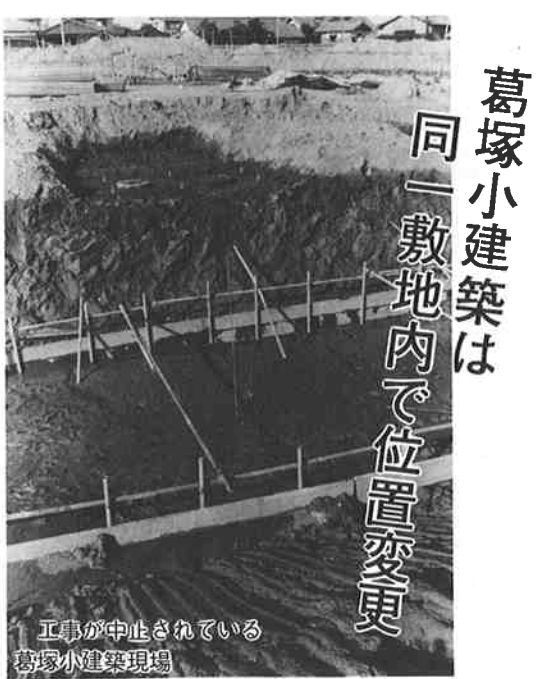
(図1) 変更後の配置図

前号で、葛塚小学校の基礎グイ沈下についてお知らせしましたが、その後、建設省建築研究所の調査結果が出ました。

本グイは、グイを打ち、機械のオーガーを引き抜く際、水を注入して砂層が変化しないように施工すべきところ、水を充分注入しなかったため、地中の土砂が噴き出

すボーリング現象が起こり、グイが沈下したことが判明しました。また沈下していないグイについても、完全でないことがわかりました。

果に基づき、新たにボーリングや土質試験を施し、同一敷地内で位置を移動して建築することに決めました。位置変更は、当初、住宅地側に校舎があったものを、グラウンドにするものです。(図1)



工事が中止されている葛塚小建築現場